

八峰コミスク通信

令和元年度
第6号
R1/7/19
CSレター
工藤

Dのあっちこっち見聞録

※見えていないものがあります。ごめんなさい。

〈地域の人材編〉

■正課クラブの地元講師

両小学校では、授業の一環で行われる正課クラブに地元講師をお願いしています。

峰浜小学校では、太鼓は峰神太



鼓の米森さん、絵画は大高さん、手芸は伊藤さん、岡本さん、阿波野さん、英会話は木藤さん、南部さんが指導に当たっています。将棋は講師が見つからなくて、校長先生自ら講師になっていますが…。

八森小学校では、祭鼓連の工藤さんが太鼓指導しています。

地元講師が頑張ることで、子どもたちも先生も楽しい雰囲気です。正課クラブが行われています。



■小学校の読み聞かせ

毎月1回、小学校を訪問して、10分ほど

どもたちに読み聞かせ等を行っている「おはなしの会かもめ」。

両小学校とも、子どもたちが夢中になって聞き入っています。そして先生たちも。

「おはなしの会かもめ」は今までの活動が評価されて、春に文部科学大臣賞を受賞しました。(拍手をお願いします)



〈地域の魅力発見編〉

■あきた白神体験センター

センターは、この時期多くの学校を受け入れて、海・山・創作体験などのお手伝いに大忙しです。

町内の小・中学校ももちろんお世話になっていきます。磯遊びや海水浴、シーカヤック、ガイド付きの留山や二ツ森登山、ジオパークツアー、白神パンづくりやだまご鍋づくりなど、多くの体験を通じて、八峰町の良さを発見するとともに、楽しい思い出づくりにもなっています。

夕方、西日を浴びて海がキラキラ輝いているなかでのシーカヤックは、観ているほうも感動します。

ちなみに、地元の学校が海遊びが得意と思いきや、センタースタッフいわく「山の子たちの方が遊べているよ」。(あれ?)



■ポンポコ山公園ラベンダー

峰浜小4年生のラベンダー摘み取り体験が行われました。晴天のもと、サンセットタワーを

見上げての作業はのどかで心地よい時間でした。「日本の日常にある平和な風景に幸せを感じます。」とバンガローに宿泊した台湾の方が言っていたそうで、まさにその通りの光景でした。

摘み取りしたラベンダーは、サシェ(におい袋)にして「んめものまつり」で4年生が自ら販売する予定です。



〈地域の交流編〉

■中学生と子ども園との交流

家庭科授業の一環です。八峰中2年生と子ども園年長組との交流です。最初、お互いにぎこちない笑顔が、交流を通じてだんだん優しい笑顔に変わっていきます。



中学校の先生曰く、「中学校では見ることのない生徒の一面も見ることができてうれし」。楽しみにしている生徒も多いとか。

ちなみに、写真の遊具、ゲーム等は中学生の手作りです。

●夏休み朝の小学生ラジオ体操に、自治会や老人クラブの方にも参加を呼びかけています。地域の方が来られたら歓迎してください。

●8月20日(火)午後2時半に「熟議」を開催予定です。関心ある方はご連絡ください。

●夏休み中、八峰町の海・山・川、それに地域で行われている行事等に親しむことをお勧めします。